

春先の土づくりは高品質多収穫みかんづくりで一番大事な作業

養水分を吸収する細根の充実と根域層の拡大が品質アップと連年結果のかなめ!



細根の充実と根域層の拡大 に向けた土づくり(土壌改善)

★土壌化学性の改善

(アルカリ資材、石灰・苦土肥料、微量要素資材等の施肥) 土壌別の改善

適正な土壌養分の供給とその養分間のバランスの確保

★土壌物理性の改善

(中耕・深耕の実施、堆肥・有機物等の投入)

根圏の拡大及び根の生理機能の増進

土壌とくに下層土の孔隙量の増大と水分、酸素の供給保持

★土壌生物性の改善

(堆肥・有機物等の投入)

有用な土壌小動物、微生物の活動助長

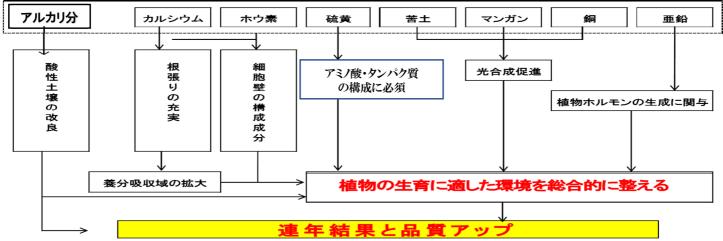
ストロングバランスは、アルカリ資材 石灰・苦土肥料、微量要素資材を 1資材でカバー、併せて物理性の 改善も期待できます!



期待される効果(土壌の化学性と物理性の改善)

- ★土壌pHを改善・維持します。
- ★生育に必要なカルシウム、マグネシウム、 ホウ素、マンガン、鉄、銅、亜鉛、イオウを バランス良く底上げします。
- ★ストロングバランスに含まれる硫酸カルシウム は水に溶け土壌の下層まで移行し、根張りの 充実と根域層を広げます。また、土壌コロイド とカルシウムが結合し、土壌の膨軟(ホクホク) 化を高めます。

ストロングバランスの期待される含有成分効果





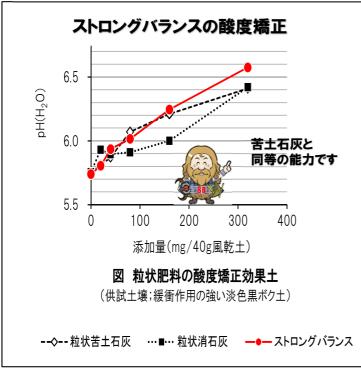


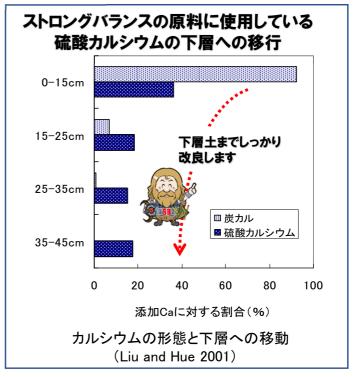
●成分内容(%)

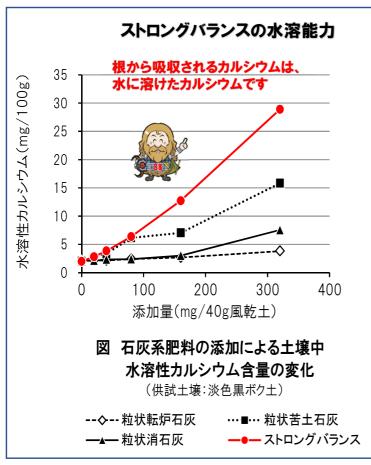
保証成分	アルカリ分	く溶性苦土	く溶性マンガン	く溶性ほう素
	35.0	12.0	0.20	0.20
	カルシウム全量	水溶性カルシウム	硫黄全量	鉄全量
分析例	33.4	水溶性カルシウム 12.1	<u> </u>	<u>鉄全量</u> 0.10
分析例		水溶性カルシウム 12.1	硫黄全量 8.4	鉄全量 0.10













目安の施肥量:年間100kg/10a 2~3月 60kg/10a 8~9月 40kg/10a

土壌pHの改善と維持のため、年2回の分施がお勧めです